

平成26年度 第2回（後期）学校評価の結果について

広沢小学校では、毎年、7月と2月に保護者の皆様にご協力いただいた「学校評価・保護者アンケート」を軸に、児童を対象として行なう実態調査「よりよい学校生活をめざして」、本校教職員を対象として行なう「学校評価・教職員アンケート」を実施しました。保護者アンケートにつきましては今回も96%を超える方々が回収にご協力いただきました。ありがとうございました。

集計結果は下記の通りでした。今回は前期と後期の結果が比較できるようになっています。評価は、
A（よく出来ている）B（大体出来ている）C（あまり出来ていない）D（出来ていない）E（わからない）の5段階になっています。（ただし、児童の評価は4段階）

ここにあげた数字は、A（よく出来ている）B（出来ている）を合わせたパーセントを示しています。

保護者による評価				児童による評価				教職員による評価			
番号	評価項目	評価		番号	評価項目	評価		番号	評価項目	評価	
		前期	後期			前期	後期			前期	後期
1	学校の勉強がよく分かっている。	82	82	1	学校の勉強がよく分かる。	93	91	1	分かりやすい授業を行っている。	100	100
2	自分の思いや考えを生き生きとノートやプリントに書いている。	74	75	2	自分の思いや考えを進んでノートやプリントに書いている。	86	87	2	丁寧にノート指導をしている。	93	90
3	家庭で読書をしている。	52	55	3	家で読書をしている。	66	67	3	読書指導を充実させている。	99	92
4	毎日家庭学習(宿題)に進んで取り組んでいる。	81	83	4	毎日家で進んで宿題に取り組んでいる。	88	85	4	計画的に宿題を出し、点検している。	100	100
5	テストやプリントの間違いを直す習慣が身についている。	61	67	5	テストやプリントは直しまでやりぬいている。	88	89	5	テストやプリントの直しをさせている。	88	100
6	学級だよりや学習予定表を見て、学習準備ができる。	88	88	6	学級だよりや学習予定表を見て、学習準備をしている。	94	94	6	学級の様子や学習の準備がよく分かる「学級だより」「学習予定表」を出している。	100	92

7	約束を守り、集中して学習している。	75	79	7	約束を守り、集中して学習している。	89	86	7	集中できる学習環境を整えている。	100	92
8	日々の学校生活を楽しいと感じている。	87	85	8	学校は楽しい。	89	88	8	どの子も楽しい学校生活が送れるようにしている。	100	100
9	思いやりのある温かい言葉を使っている。	73	73	9	やさしく丁寧な言葉を使ってい	79	78	9	思いやりのある温かい言葉使いを指導している。	100	100
10	仲間を大切にする気持ちで学校生活を送っている様子が感じられる。	81	86	10	友だちを大切にしている。	98	98	10	仲間を大切にし、好ましい人間関係を育てる学級づくりをしている。	100	100
11	日ごろからきまりを守って行動しようとしている。	87	85	11	いつもきまりを守って行動しようとしている。	92	92	11	学校のきまり、社会のルールやマナーについて指導している。	100	100
12	自分から気持ちのよいあいさつができる。	77	74	12	自分から気持ちのよいあいさつができるようになっている。	85	88	12	あいさつ指導をすると共に、進んで児童に声をかけている。	100	100
13	早寝・早起きができる、時間を意識して生活できている。	70	62	13	早寝・早起きができる、時間を考えて生活できている。	78	79	13	早寝・早起きの指導・啓発を行っている。	100	100
14	ゲームやテレビ視聴の時間を決め、進んで外遊びをしている。	66	55	14	ゲームやテレビ視聴の時間を決め、進んで外遊びをしている。	77	78	14	安全・健康に関心を持つように指導している。	100	100
15	好き嫌いなく食事をしている。	76	78	15	好き嫌いなく食事をしている。	78	81	15	学校・学級の仕事を進んでできるよう指導している。	100	100

1 学校評価アンケートの分析・考察

◇分析 <児童による評価>

- ・児童の評価では前期と比較すると、④・⑦・⑧・⑨の項目でプラス評価が下がりました。

④毎日家で進んで宿題に取り組んでいる。(88%→85%)

⑦約束を守り、集中して学習している。(89%→86%)

⑧学校は楽しい。(89%→88%)

⑨やさしく丁寧なことばを使っている。(79%→78%)

- ・90%を超える高い評価となっている項目は下記の通りです。

① 学校の勉強がよく分かる。(91%)

⑥学級だよりや学習予定表を見て、学習準備をしている。(94%)

⑩友だちを大切にしている。(98%)

⑪いつもきまりを守って行動しようとしている。(92%)

◇考察

どの項目も若干の変化はあるものの、大きなアップやダウンはありませんでした。全体的に見ると、学校生活を規則正しく、また楽しく過ごしているようです。しかし、CやDと評価した児童がいることについては重く受け止め、指導や支援を続けていきたいと思います。

◇分析 <保護者による評価>

- ・保護者の評価では前期と比較すると、⑧・⑪・⑬・⑭の項目でプラス評価が下がりました。

また、残念ながら90%を超える高い評価が得られた項目はありませんでした。

⑧日々の学校生活を楽しいと感じている。(87%→85%)

⑪日ごろからきまりを守って行動しようとしている。(87%→85%)

⑬早寝・早起きができ、時間を意識して生活できている。(70%→62%)

⑭ゲームやテレビで視聴の時間を決め、進んで外遊びをしている。(66%→55%)

- ・前期よりもプラス評価がアップし、比較的高い評価をいただいたのは、④・⑩・⑮の項目でした。

④毎日、家庭学習（宿題）に進んで取り組んでいる。(81%→82%)

⑩仲間を大切にする気持ちで学校生活を送っている様子が感じられる。(81%→86%)

⑮好き嫌いなく食事をしている。(76%→78%)

※⑥学級だよりや学習予定表を見て、学習準備ができている。（前・後期とも88%）

◇考察

⑯、⑰を除いて、大きくダウンした項目はなく、前期と比べても全体としては保護者の方の評価には大きな違いは見られません。しかし、90%以上のプラス評価がないということは重く受け止めないとなりません。教師がどんな

ことをしたかでなく、どんなことができたかで自己の取組を振り返り、指導力を高めることが必要だと感じています。そのためには、『目指す子ども像』に迫るための『目指す教師像』を常に意識し、児童や保護者の方の思いをしっかりと受け止めて学級経営をしていきたいと思います。

◇分析 <教職員による評価>

- ・教職員の評価では前期と比較すると、②・③・⑥・⑦の項目でプラス評価が下がりました。
②丁寧にノート指導をしている。(93%→90%)
③読書指導を充実させている。(100%→92%)
⑥学級の様子や学習の準備がよく分かる「学級だより」「学習予定表」をだしている。(100%→92%)
⑦集中できる学習環境を整えている。(100%→92%)
- ・前期より、A評価「よくできている」が下がった項目は、①・②・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨でした。

◇考察

③・⑨・⑫・⑬・⑭・⑮の項目については、教職員が高い評価をしているにも関わらず、児童・保護者とも低い評価となりました。

本来、「わりやすい授業をする」「学校が楽しい」、「きまりを守る」、「丁寧な言葉づかいをする」、「あいさつをしっかりとする」などは、「よくできている」と評価できないといけない項目であり、「だいたいできている」という評価が多くなったり、児童や保護者の方から「そうではない」と評価されたりしてはならないことです。教師が自分を厳しく見つめた結果かも知れませんが、今一度、教職員一人一人が自分の取組を振り返り、指導方法を工夫・改善し、指導力を向上させていく必要があります。そして、自信をもって「よくできている」と言い切れるようにしていきたいと考えています。

③の「読書指導を充実させている」については、学校での取組が家庭の中で、まだまだ実践できていないことがわかります。前期の学校評価でも、教職員は児童が興味・関心を持つような取組を行っているけれども、保護者・児童は十分でないという評価となっていました。今後も、さらに読書の楽しみや大切さを気づかせ、自分から進んで読書できる児童を育てていく読書指導を実践していくことが大切だと感じています。

⑬・⑭・⑮については、基本的の生活習慣は家庭の協力なしには身に付きません。今回の学校評価の実施時期を考慮してもまだ十分とは言えません。幸い保護者の方には本校の保健指導や健康教育に深いご理解をいただき、また様々な面でご協力いただいている。今後も、これまでの学校の取組を積極的に広めながら、お子たちと一緒にあって取り組んでいただけるようお願いしていきたいと思います。

2 後期に、「成果が見られる」と判断された項目

(※保護者、児童、教職員のすべてで評価が上がった、または評価が高かった項目)

◇友だちを大切にしている ⑩

保護者(81%→86%)、児童(前・後期98%)、教職員(前・後期100%)という結果でした。本校では毎月「ハッピーデー」を設定し、《友達のよいところを見つけよう》《命を大切にしよう》などその月のテーマを明確に

して取組を進めると同時に、前月の「振り返り」を行ながら、一人一人の子どもたちが自分自身と向き合う時間の大切にし、自尊感情や自己有容感と高める取組をしてきました。また、学級経営においても、前期の取組をさらに充実させるために朝の会や終わりの会の中で、また学級指導や道徳の学習の中で、一人一人を徹底的に大切にする指導に努めてきました。毎日の一つ一つの積み重ねの成果の表われだと思います。

◇好き嫌いなく食事をしている ⑯

保護者（76%→78%）、児童（78%→81%）という結果でした。

本校では、今年度も健康教育にも焦点を当てた取組を推進してきました。健康は夢や希望に向かうための最も基本となる資源であると捉え、「食育」もその中の一つと考えています。担任や栄養教諭の指導以外にも講師の方を招いて、いろいろな人から子どもの「食」を見てもらうことで「食」の大切さ気づかせてきました。その結果、子どもの好き嫌いをなくすサポートにつながり、子どもがそれぞれに抱えている課題の克服に効果的であったと思います。また、給食委員会の活動として、「豆つまみ大会」や「牛乳パックつめ」、「調理員さんへの感謝の言葉」などの取組を行ってきました。学校生活の中で、「食」に興味・関心を持ち、感謝する気持ちを大切にしてきた結果だと思います。

このように子どもたちが主体的に「食」に関わることはとても大切なことで、今後も子どもたちの主体的な活動をより良いものになるようにしていきたいと思います。

3 学校運営協議会での主な意見

○学校でのいろいろな活動や取組を通して、弱さの見られる部分を育てていっていただきたい。来年度も広沢の子どもたちのために地域・保護者ができることについては遠慮なく申し出てほしい。大いにバックアップしていきたい。

○学校だけでは不十分な部分は、学校運営協議会としても保護者に積極的に働きかけていきたい。

○挨拶については、先生方が声かけ運動に参加されたり、児童会のあいさつ運動などを考えたりしてもよいのではないか。しかし、家庭でもしっかりとあいさつができるように保護者がしつけていくことがまず大切だと思う。

4 次年度への課題

児童、保護者、教職員のそれぞれの評価とも、前期の学校評価と比べるとそう差異がない結果となりました。しかし分析にも挙げさせていただきましたが、

- 保護者の方のプラス評価が90%を超えていないということ
- 読書に対する姿勢、意欲がまだ十分でないこと
- 悩みや不安を抱えながら学校生活を送っている子どもたちがいること
- 自分から進んで挨拶ができていないこと

など、課題として残っています。

今回の学校評価を受けて、今一度、教職員は自分の取組を真摯に振り返り、改善しなければいけないことについては責任を持って対処しきたいと思います。そして、児童・保護者の方の思いをしっかりと受け止め、すばらしい子供、すばらしい学校、すばらしい地域を目指していきたいと思います。

保護者、地域の皆様方、今後とも子どもたちを温かく見守っていただきますとともに、導いていただきますようよろしくお願ひいたします。